

# 令和4年度 第1回 京丹波町子ども・子育て審議会 議事概要

日時：令和4年9月28日（水） 午後1時30分～午後4時00分

場所：京丹波町役場2階 大会議室

出席委員：16名

欠席委員：2名

## 1 開会あいさつ

**会 長**：本年度も引き続き、微力ではあるが皆様方のご協力のもと、尽力をしていきたいと思っているので、どうかよろしくお願ひしたい。

子ども・子育て審議会は今年で5年計画の3年目となる。私としては、2度目の会長となる。継続の委員の方々には再度お世話になる。また、初めてご参加の委員の皆様には改めてご協力をよろしくお願ひしたい。

さて、ご存じのとおり、いまだ猛威を振るっているコロナ禍で、社会的には感染対策の徹底のもと社会経済活動が回復しつつあるが、この間子どもを取り巻く社会状況はいまだかつてない危機感を感じさせる状況でもある。1つには、依然として続く少子高齢化、そして児童虐待の増加、子どもの貧困化問題等、コロナ禍においてさらに拍車をかけている状況である。とりわけ、子どもの貧困化は深刻である。私は、今の子どもたちは3つの貧困を抱えていると考えている。1つは経済的な貧困。コロナ禍で保護者の就労がうまくいかず、経済的に困窮することにより食事を食べることがままならない状況下にある子ども、家庭内不和による不登校、虐待などが挙げられる。2つ目は関係性の貧困。友達関係、遊び場、居場所が喪失している。外へ出る機会がなくなり、関わりが持てないという意味で、他者との関係性の貧困状態にあると考える。3つ目は、経験の貧困。学校外での豊かな体験活動や修学旅行、運動会等、学校外で様々な人と触れ合うということにより学ぶことができる感覚が喪失していると思う。これらは全て子どもの健やかな発達を阻害する要因となると考える。こうした現状において、今後京丹波町の子どもたちをどうしていくのか。刻々と変化する社会状況に対応する力を我々が持たなければいけないと思っている。

本日は関係の諸団体の代表の方、公募で委員となっていた方にも出席いただいている。様々な分野から多様な意見をいただきながら、京丹波町の強みとは何か、課題は何かを論議できたらと思う。

今後、この審議会が有益に機能することを心から祈念し、冒頭の挨拶とさせていただきます。

## 畠中町長あいさつ

## 2 委嘱状の交付

委員1名 代表受領

### 3 報告事項

#### (1) 子ども・子育て審議会、子ども・子育て支援事業計画について

【事務局による説明】

**会 長：**審議会の設置目的等について説明があった。今後の審議の基礎的な部分として、委員の皆様にご理解をお願いしたい。

#### 4 各委員の活動内容に関する交流

【各委員から、自己紹介と各所属先での子育てに関わる活動内容を報告】

#### 5 「京丹波町の子育て環境の強みとは」(グループワーク)

【事務局によるグループワークについての説明】

**会 長：**事務局からグループワークについての注意点、グループ分けなどについて説明があった。何か質問などはないか。

**会 長：**ないようなので、早速ではあるが各テーブルに移動いただきたい。40分間ということで、大変短い時間となるが、できるだけ皆様と積極的に話ができるようよろしくをお願いしたい。

【各グループでグループワーク】

**会 長：**時間の制約がある中、盛り上がった頃に終了となってしまいが、今後の子ども・子育て審議会においても意見をいただければと思う。

各グループで出た貴重な意見を全体で共有したい。各グループ担当の事務局から報告をお願いする。

**事務局：**(Aグループ) 京丹波町の良さとして、まずは環境面で田舎であるため走り回れる環境のあるという所と、子どもの数が少ないというのはメリットもデメリットもどちらもあるが、少ないからこそ他の子どもの顔や保護者の顔がわかり、先生方も全員の顔を覚えていることや、小中学校での学習支援員が手厚く配置されていること、外国籍の子どもの支援員の配置等、小規模だからこそ、充実できている部分があることが挙げられた。

今後、特に外国籍の子どもに関しては言葉の支援だけでなく文化や食生活等、支援が非常に多岐に渡るため、行政も一緒になって相談窓口をつくり、地域ぐるみで支援ができるような体制作りを考えていけたらという意見が出た。

情報発信については、チラシや新聞等、情報源がいろいろで、自分から探しに行かないと情報が入ってきづらいという意見が出た。みんなで集まれるような場所に、イベント情報が一斉に貼り出せるような掲示板を作ったり、交流ラウンジのような保護者同士や子どもが気軽に集まって遊べるような場所を作り、そこに情報が集約されればより情報も得やすくなるのではないかという意見が出た。

**事務局：**(Bグループ) たくさんいろんな良い意見が出た。京丹波町の良さという部分で、支援策は豊富にあり、住みにくいと思ってもない。地域ですごく応援をしてもらっており、新しい取り組みにもたくさん協力も得られる町だということも意見としていただいた。その中で、もっと住民さんを活用するような場面があってもよいのではないかと、地域の関わりを活用して、相談窓口を開設し、行政だけでなく地域でも相談員を作ったらどうかというような意見や、コロ

ナの影響を受けて今後は変化も必要であり、強みと弱みは表裏一体であるため、プラスの方向で考えていけたらよいのではないかという話も、様々な立場の方から、いろんな方面で意見をいただいた。

京丹波町は少子高齢化が進んでいると言われていの中で、「京丹波町はあかん」というイメージを持っている親の意識を変えていかなければならないのではないかという意見や、後継者が見つからない、就学前は手厚いが、就学してしまうと学校と親の関係性が希薄になるという課題、またスポーツ少年団や校区等、町全体として部活のことや活動を考えるような機会があればいいなという話もたくさんいただいた。

施策の発信については、必要な人に情報が届いていない現状があり、現在情報発信に使用しているホームページやアプリ、お知らせ版、各戸配布のチラシだけでは、結局情報が届いていないところもあるため、子育てに関することは小中学校を通して発信したり、Aグループでも出たような誰にでも目につくような掲示板使うなどの方法や、また耳から入る情報の方が日常の中では入りやすいという意見もあった。

グループワークをする中で、委員の皆様の人材が地域の関わりを作ってくださっており、ここに来てくださっている皆様が町の宝になっていくのではないかと感じた。

**事務局：**(Cグループ) Bグループの報告でも出たが、「必要な人に必要な情報が伝わること」という話がCグループでも多く挙がった。町からの情報として、行政施策だけでなくボランティアの情報等も含めて発信したほうがよいのではないかという意見も出た。また、子どもに関わっている委員や関係者自身からも発信していく必要性を感じるという話があった。あわせて、現在の時代に合った情報発信という面では、やはり SNS 世代であるためアプリ等の活用をもっとできないかという意見が出た。

また、子ども・子育て審議会には様々な団体から委員として出ているが、実際、各団体がどのような団体なのか十分に理解できていないこともあり、しっかり顔を見て直接話をしていくことの重要性を感じるという意見も聞かれた。

強みという面で、先進的な部分もあるかもしれないが、最近新聞にも取り上げられるオムツ事情のこと等、まだまだ充実していない部分も積極的に進めていただきたいという意見もあった。

また、結婚して京丹波町に来た時は、えらいところへ来てしまったという思いがあったが、親になってからは子育てする環境として非常に良いと思ったという嬉しい意見もいただいた。

須知高校の生徒数の減少の話について、関係者の方がいろいろ頑張ってもらって、少し変わってきたと感じる一方で、少子化の影響でなかなかうまくいかないという話もあった。

京丹波町に住む者としては、須知高校の新聞記事等に非常に注目している。須知高校から、アプリ等を使用した情報発信もしてもらいたければと期待する話も出ていた。

**会長：**それぞれのグループで短時間にも関わらず非常に有意義な論議をしていただき、貴重な意見を聞かせていただくことができた。全体を通じて、言い残したことなどはないか。

**会長：**短時間となり非常に申し訳ないが、本日顔見知りとなったメンバーで今後とも引き続いて論議をしていきたい。和気あいあいとした会議が今後も続けられるよう、よろしく願いたい。

グループ討議ありがとうございました。

## 6 協議事項

### (1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

#### ①量の見込み及び確保方針における令和3年度実績について

#### ②施策における令和3年度の実績について

【事務局による説明】

**会 長**：事務局の説明にあったように、令和3年度の成果をまとめている。意見は後日書面にて提出いただく形とするので、よろしくお願ひしたい。

### (2) その他事項

#### ①地域福祉計画策定委員会について

【事務局による説明】

**会 長**：京丹波町の地域福祉計画策定委員会に子ども・子育て審議会の代表として出席させていただいている。コロナ禍でなかなか会議が進んでいない部分もあるが、大枠としては地域福祉計画の策定が進んでいる。また適宜皆様に報告させていただく。

#### ②病児保育室「ひまわり」について

【事務局による説明】

**会 長**：詳細については資料に印刷されているQRコードからも見ることができるということで、ぜひともご活用いただければと思う。2点説明があったが、質問などないか。

## 7 次回以降会議予定

**事務局**：事務局から、第2回の会議を令和5年1月下旬の開催として提案させていただく。開催場所等の詳細については、会議開催の1ヶ月前をめどに改めて通知させていただく。

**会 長**：令和5年1月下旬ということで、よろしくお願ひしたい。

## 8 閉会あいさつ

**副会長**：本日は、令和4年度第1回京丹波町子ども・子育て審議会に出席いただきありがとうございました。コロナ禍が続く中で、南丹船井地域でも驚くほど感染者が増えてきていた。制約の多い中ではあるが、第1回目の会議が皆様の参加で開催でき、嬉しく思っている。

京丹波町の強みは何かと振り返ったときに、本日この会場まで来るときに彼岸花が真っ赤に咲き誇っており、この自然の中で子どもたちがのびのび育ってくれたら嬉しいなと思いながら出かけてきた。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるが、これからまた心地よい季節に入ってくるので、子育て最中の皆様は存分にこの自然を味わっていただけたらと思う。また、そのような心のゆとりを持って子育てを進めていただけるように、この審議会が活かされていくといいなと思う。

さて、今回は委員の皆様のご意見をたくさん聞かせていただきたいということでグループワークをさせていただいた。本当に短い時間の中で、意見が言い切れなかった方もいらっしゃると思うが、短時間の中でいろんな意見が出ているのを聞いて嬉しく思った。それぞれの職

場や立場で、常々感じられている子育てについての課題や問題点を確認し、京丹波町の子育て環境の改善と、子育て環境の良さ、強みを生かした取り組みに繋げていけるよう、共有していけたらと考えている。本日いただいた意見を踏まえて、それぞれの立場で今の子どもたちや子育て世代の方々にとって本当に必要な支援は何かを考えていくことが大切であると本日また新たに感じた。今後とも皆様それぞれの立場で、子ども・子育てに関心を持ち続けていただいて、支援していただきますようお願い申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。

**閉 会**